



付知里山再生プロジェクトだより

間伐材の引出し

第一回 “あまの森” 造りボランティア

令和3年10月9日(土)8:30～12:00

晴

参加者 23名



10月というのに日中は真夏並みの気温が続く毎日、今回は林の中に放置されている間伐材を回収する事とした。木材は薪ストーブの燃料となり、資源の回収、また、山林の危険物除去でもある。一度や二度では片付け切れないため、今後数回に渡り実施したいと考えている。新入社員2名、初めてのボランティア参加者3名含め総勢23名の方に集まって頂けた。

この場所は以前、杉桧が密集しており、日中でもあまり陽が射さず、暗い森であった。今後整備を進め地域の方に良かったと思って頂ける森、自然散策できる憩いの森“あまの森”造り行う。

具体的には、林内に、桜、モミジ等の広葉樹を植え、遊歩道及び東屋を造り、誰でも自由に、子供連れの家族でも手軽に散歩が出来る森を目指す。来春5月、多くの方に参加頂き、植樹を行う予定だ。中野代表理事がイメージされる森を目指して！



東屋建設予定地にて

整備前の森

ヒノキの香りが心地よい





長いものはチェーンソーで切断し人力で運搬車両まで運びます



野菊が満開



足元に気負付けて

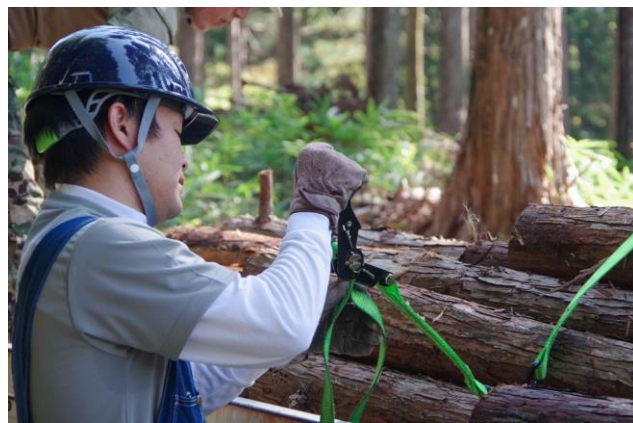
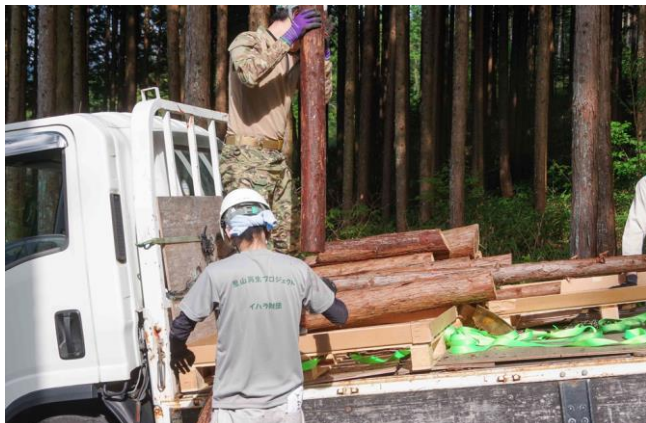
持ち上げれないものでも
蔓で引けば移動できる



若さのパワー



トラックに積み込み、薪割り場所へ移動する



まだまだ残っているなー



憩いの森の完成が楽しみだ!!